

# もみじ

—広島山岳・スポーツクライミング連盟会報—



一般社団法人 広島山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: [hgakuren@lime.ocn.ne.jp](mailto:hgakuren@lime.ocn.ne.jp)

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

## 本号内容

1. 今年度の県岳連活動計画
2. 個人会員ありんこチーム活動 (3/16~17 雪彦山ほか、3/3 東中倉山~麻美山~長者山) 報告
3. 県民ハイキング有志参加 (2/11 黒滝山・白滝山) 報告
4. 岳連短信 (寄贈御礼)

## 山 国登研)

- 6/22(土)~23(日) 安全登山サテライトセミナー 国登研と共催 (大阪)
- 7/5(金)~7(日) 国スポ中国ブロック予選 (松江 旧千酌小学校)
- 7/6(土)に中国地区連絡協議会も
- 7/21(日)~25(木) 大邱広域市高校生を招待 (奥三段 峽沢登りほか)
- 7/24(水)~28(日) アジア山岳連盟総会・30周年事業 (新潟 長岡)
- 7/27(土) 県高体連沢登り講習会 (アカナメラ谷)
- 7/28(日) 県岳連沢登り研修会
- 8/2(金)~6(火) 第68回全国高校登山大会<インターハイ> (福岡 英彦山・岳滅鬼山)
- 8/11(日祝) 県民ハイキング(64) (深入山)
- 8/11(日祝)~12(月祝) 第8回「山の日」全国大会 (東京都)
- 8/18(日)~23(金) 登山リーダー夏山研修会 国登研と共催 (国登研・剣岳周辺)
- 8/25(日) 中国地区ユースクライミング大会 (広島 CERO)
- 8/31(土)~9/1(日)? 県高体連合同合宿
- 9/13(金)~15(日) 中国高校登山大会県予選 (恐羅漢山)
- 9/21(土)~23(月祝) 第60回全日本登山大会 (新潟 県)
- 9/24(火)~29(日) 県岳連写真展 (NHKギャラリー)
- 9/29(日) 登攀研修会
- 9~11月 (日程未定) 中国地区自然保護研修会 (島根)

## 1. 今年度の県岳連活動計画

(事務局)

今年度の当連盟の主な行事予定です。県高体連登山部・中国地区岳連・JMCSA 関連のものも含まれます。太字は県岳連主催の行事です。ただし、クライミングスクール・トレッキングスクールについては3月までに事前申し込みが必要であったため掲載していません。

- 4/7(日) 県民ハイキング(62) (日浦山)
- 4/13(土)~14(日) 広島県SC競技大会2024 兼 国スポ 広島県選手選考会 (CERO)
- 4/21(日) 自然保護研修会 (比婆山)
- 4/27(土) 県高校総体広島地区予選 (宮島)
- 5/11(土) 2024(令和6)年度定時総会
- 5/26(日) ハイカーの為のロープワーク講習会 (三篠 公民館)
- 5/31(金)~6/3(月) 大邱広域市山岳連盟を招待 第1案 (東広島 龍王山ほか)
- 6/1(土)~2(日) 県高校総体 (県民の森・比婆山)
- 6/1(土) 登山フェスティバル (東広島市憩いの森)
- 6/2(日) 県民ハイキング(63) (西条龍王山)
- 6/16(日) 無雪期のレスキュー研修会 (福山 蔵王山)
- 6/21(金)~23(日) 無雪期山岳レスキュー講習会 (富

隠岐)  
 10/5(土)～6(日) SCコーチ1養成講習会実技 (福山 エフピコアリーナ)  
 10/7(月)～11(金) 山岳遭難救助研修会 国登研と共催 (国登研・周辺山城)  
 10/12(土)～14(月祝) 第78回国民スポーツ大会 SC競技 (佐賀 多久)  
 10/13(日) 県民ハイキング(65) (宗箇山)  
 10/24(木)～28(月) 韓国大邱広域市山岳連盟を訪問  
 10/25(金)～27(日) 中国高校登山大会 (広島 恐羅漢山)  
 10/30(水) 全員協議会  
 10/(未定) ベルコンプ第2戦 (未定)  
 10/(未定) パラクライミングジャパンシリーズ第1戦 (福山 エフピコアリーナ)  
 11/2(土)～3(日祝) 広島地区新人大会 (CEROほか、11/2は全国高校クライミング選手権代表選考会を兼ねる)  
 11/3(日祝)～4(月祝) 登攀技術研修会 (A級主任検定員・コーチ2養成講習会) (兵庫)  
 11/15(金)～17(日) 西部地区安全登山指導者研修会 国登研と共催 (高知県)  
 11/16(土)～17(日) インクルーシブ・スポーツ・フェスタ (福山 エフピコアリーナ)  
 11/22(金)～25(月) 大邱広域市山岳連盟を招待第2案 (福山 山野峡ほか)  
 11/23(土祝)～24(日) 日本山岳会120周年行事(=後援) (広島・白木山)  
 11/23(土祝) 県民ハイキング(66) (馬乗山) 県東部合同登山を兼ねる  
 11/(未定) 第48回山岳自然保護の集い全国自然保護委員長・自然保護指導員参加 (ハイブリッド)  
 11～2月 (日程未定) 中国地区SC部ブロック別研修会 (鳥取県)  
 12/6(金)～7(土) 県登山部顧問等安全登山講習会  
 12/21(土)～22(日) 第16回全国高校選抜SC選手権大会 (埼玉 加須)  
 12/22(日)～23(月) 安全登山サテライトセミナー 国登研と共催 (東京)

1/5(日) 新年互礼登山 (宮島)  
 1/24(金)～26(日) 積雪期山岳レスキュー講習会 (群馬 土合山の家)  
 1/25(土) 国スポ・インターハイ報告会・岳連新年会  
 1/31(金)～2/2(日) 積雪期登山基礎講習会 国登研と共催 (国登研・周辺山城)  
 2/1(土)～2(日) 氷雪技術研修会 (A級主任検定員・コーチ2養成講習会) (鳥取 大山)  
 2/8(土)～9(日) 雪山技術研修会  
 2/8(土)～9(日) 県高校新人登山大会 (もみのき森林公園)  
 2/16(日) 県民ハイキング(67) (玖波行者山～枘岩)  
 2/23(日祝)～28(金) 登山リーダー冬山研修会 国登研と共催 (国登研・周辺山城)  
 2/28(金) クライミングスクール説明会  
 2月か3月(未定) 海外トレッキング(台湾 雪山ほか)  
 3/6(木) トレッキングスクール説明会  
 3/8(土)～9(日) 県高体連登山部春の合同練習会 (宮島)  
 3/8(土)～9(日) 中国地区山岳(SC)連盟(協会)連絡協議会 (鳥取県)  
 3/15(土)～16(日) 氷雪技術研修会 (A級主任検定員・コーチ2養成講習会) (谷川岳)

## 2. 個人会員ありんこチーム活動報告

(事務局)

3/16～17 雪彦山ほかの活動報告が事務局に寄せられましたので紹介します。また、3/3 東中倉山～麻美山～長者山の報告も岡谷顧問を通じて届きましたので紹介します。

### 『チームありんこ3月「雪彦山」山行報告』

(個人会員 細田 悦朗)

ありんこ(個人会員チーム)3月2回目となる山行は、計画担当者の2年越しの希望をかなえる播磨の名峰“雪彦山”を登ってきました。

実は、この山は2年前に計画していた山でしたが、実施時期にヒルが発生することで有名であったため、大山方面に場所を変えたいきさつがあり、今回はヒルの出ない3月に設定しての山行でした。

事前の下見は難しいので登山道の様子はユーチューブで確認、あとは天候を祈るだけで早朝 5 時から順次ピックアップして一路姫路へと向って行きました。午前 10 時に登山口に到着、心配していた天候も晴、岩稜地帯を登る装備を整えたメンバーは青空の向こうに見える雪彦山の岩峰目指して、意気揚々と登って行きました。

登山道は急登に加えて名のついた巨岩、鎖場が随所にあり、名所の“馬の背”や“天狗岩”に挑戦しながら楽しんで行きました。ただ、天狗岩は登ってはみたけど降りるのは恐くなり、お助けロープも作って降りて行く一コマも有りました。

メタボチェックのできる“せり岩”は全員無事に通過でき一安心、大天井岳に着いたところで一息入れ、しばし姫路方面の山並みを眺望し春のひと時を楽しみました。

休憩後は本日のメイン箇所「この先危険う回路とおれ」の看板のある“激下りの鎖場”から“地蔵岳”へのアタックと続き、気を引き締めての山行再開となりました。

両方の箇所とも足を滑らせたら滑落、大けがの危険もあり慎重に行動、男性 2 名で懸命に女性陣をサポートし、目的地についたときは全員一安心、地蔵岳の看板を掲げての記念写真は、全員満面の笑みを浮かべてカメラに収まっていました。

地蔵岳は関西地方でも有数のクライミングルートがあり、多くのクライマーが挑戦している山です。垂直に立つ岩壁を見ると、クライマーの持つ技術と勇氣にしばし感銘をして見上げていました。

登山の後は、落ち着いた雰囲気のお宿にお泊まり、自家製のお米で炊いたご飯や地酒の中にイワナを入れた岩魚骨酒は格別に美味しかったです。

翌日は雨模様でもあったため姫路城に行くこととし、城内の桜はまだつぼみでしたが、白鷺城はいつ行っても私たちに優雅な姿を見せてくれていました。

参加された皆様、大変お疲れさまでした。事故・けがもなく山行できて良かったです。

参加者 6 名 (男性 2 名、女性 4 名)

3 月 1 6 日

広島 IC 5 : 00 → 西条 → 福山 → 雪彦山登山口着 10 : 00  
登山口 10 : 10 → 出雲岩 11 : 00 → 天狗岩 11 : 30 →  
大天井岳 12 : 00 → 地蔵岳 15 : 00 → 虹が滝 16 : 00 →  
登山口 17 : 00 → 宿着 18 : 00

3 月 1 7 日

宿発 8 : 00 → 姫路城 9 : 00 → 山陽姫路西 IC 13 : 00 →  
福山 → 西条 → 広島 IC 着 18 : 00



### 『ありんこ 3 月 3 日の山行』

(個人会員 池田 敦)

3 月 1 回目のありんこ山行は、JR 瀬野駅から東中倉山、麻美山、長者山縦走、プラス世界唯一の公共交通「スカイレール」乗車体験でした。

スカイレールは、世界唯一の公共交通だそうで、今年 4 月 30 日に廃止が予定されています。今回の山行では、一度も乗ったことのないという人が多くいて、廃止になる前に乗ってみようということで実施となり

ました。

スカイレールは、モノレールとロープウェイを組み合わせた乗り物だそうで、乗ってみた感じは、確かにどちらの要素も覗えました。我々は、下山で利用したのですが、乗り心地は、登山やスキーの時に利用するロープウェイといった感じで、ロープの代わりにモノレールのレールを移動するという感じです。

さて、本題の登山ですが、参加者は15名、広島市内の近郊の山ということ、プラス「スカイレール」乗車ということで大勢の参加となりました。

コースは、瀬野駅⇒中倉神社登山口⇒東中倉山⇒麻美山⇒長者山⇒みつぎ登山口⇒スカイレールみどり中央駅⇒瀬野駅で、行程時間約7時間半・総距離約11kmでした。

登り始めから急階段、まずは中倉神社で山行の安全祈願を行い、その後、衣服調整。この日は、暖冬にもかかわらず、氷点下の朝でしたので、皆厚着してきていましたが、地図を見ると、これからすぐに急登が始まるのが想像できました。薄着で登り始めることとします。

そして、想像していたとおり、登り始めから急登、体が温まる前なので、きつい、つかまる物が欲しくなるほどの急登、一番きついのは、麻美山山頂のところだろうから、最初から音を上げてはられない、でも皆、ありんこ久しぶりの山行ということで、おしゃべりに忙しい、いろんな話で盛り上がりながら高度を上げていきます。

榎山峠では、これからの急登を前に高級チョコレートの配給があり、このおかげで麻美山山頂直下の急登を登りきることができました。



登山のはじめは、快晴でしたが、途中から雪が降り始め、薄く積もった雪に足を取られないようにしたり、凍っている岩に滑らないように気を付けなければいけません。急な下りでは、ストックを長くしたり、慎重に歩を進めました。

こんな真冬のような天気となったりしましたが、長者山山頂に着くころには、又晴れてきて、今度は春のような陽気となり、眺望も開け、千丈岩では、白木などの山々を見渡すこともできました。

そして、最後が、この山行の核心のスカイレール乗車です。思っていたより立派な施設で、廃止となるのが、ものすごくもったいない気がしました。もっとも乗っている時間は約5分ほど、すぐに瀬野駅に着いてこの山行の終了となりました。

と思ったら、予定より1時間も早く登り終えたということもあり、広島駅駅近の立ち飲みスタンドへ、そこで、この山行の反省会及びありんこ懇親会、皆、ここが一番楽しそうに見えました。こういうこともたまにはいいなと思った山行でした。

ありんこ山行は、岳連個人会員の方であれば、だれでも参加できます。登山初めての方でも登ることができるよう皆でサポートしてきました。中国地方の里山や大山、北アルプス、九州遠征も計画しています。新年度、新しい方々の参加をお待ちしております。



### 3. 県民ハイキング有志参加報告

(理事長 豊田 和司)

『あなたの(もしかしたら)知らない黒滝山』

2月11日(日)、県民ハイキング黒滝山・白滝山は、

前日の降水確率が50%以上のため中止となりましたが、有志により計画通り登山を行いました。当日の歴史解説を再現してみました。(必ずしも、当日の内容と一致していません。ご了承ください)

### 【内堀公園】(集合場所)

ここ忠海は、三次藩の年貢米の積出港として栄えました。今、我々が立っている公園は、「内堀」と称した港の一部で、浅野長治が三次藩の港として整備した場所です。港として栄えた場所には文化も栄えます。忠海は江戸時代から俳句の盛んな所で、芭蕉の句碑もあります。(芭蕉は忠海を訪れたことはありません)

本日の見どころは、世界一と称される「多島海美」です。皆さんは賀川豊彦をご存知ですか？日本でノーベル平和賞を受賞したのは、佐藤栄作ただ一人ですが、賀川豊彦はノーベル平和賞の候補に2回もなっています。戦前はタゴール、ガンディーと並んで、世界三大聖人と呼ばれました。彼は世界中を回り、地中海や北米の湖と比べても、瀬戸内海が一番美しい、それも四国からではなく、本土側から見た瀬戸内海が世界一だと、そのエッセーで述べています。

### 【巖谷小波(いわや・さざなみ)句碑】(黒滝山登山口)

この句碑の岩は、元は郵便局長の庭に埋まっておりました。「これを使って何か石碑を作ろうと思う」とある会合で話をすると、「うちに、こんなものあるよ」と出されたのが、この書でした。「たゞ頼む大悲の山や五月晴 小波」童話作家巖谷小波(いわや・さざなみ)の俳句です。彼は、我々のよく知る日本の童話の基礎を固めた人で、当時自作童話の話し聞かせが大人気で、各地から講演依頼がありました。同時に俳句も深く愛しており、この句は、講演あとの懇親会で、地元の俳句愛好家の求めに応じて揮毫したものと思われます。

昭和八年六月末、小波は中国地方巡講中、忠海から西条へ行き、そこで腸閉塞症を起し、広島市西魚屋町の日下部病院に入院します。切開手術の結果、癌に因るものと判明。帰京し、自宅療養をしていましたが、八月、日本赤十字病院に入院、再手術を受けたものの、二十九日危篤に陥り、九月五日永眠します。

「たゞ」は、「ひたすら」の意味ですが、忠海(ただのうみ)という土地への挨拶も含んでいるでしょう。

黒滝山は三十三観音が鎮座する信仰の山なので、大悲の山は黒滝山だと思いますが、死を予感していた(かも知れない)小波が魅せられたのは、山そのものより、その背後に広がる、まるで永遠のような青空だったのではないのでしょうか。



### 【地藏院】

このお寺は、浦宗勝のご両親に縁のあるお寺です。浦氏は小早川配下の海賊で、厳島合戦の時、大友氏の使者であると偽って、大内側の軍船の囲みを素通りして、翌朝の開戦時には敵地に深く紛れ込んでいたという、厳島合戦の勝利を毛利側にもたらした立役者の一人です。このお寺の古文書には、厳島神社に廊下を寄進したという記録も残されています。忠海から厳島というと、陸路ではかなりあるという印象ですが、海路ではすぐなのです。当時は海上交通がより重要であり、船と操船技術さえあれば、海は今の高速道路のようなものだったと推察されます。浦氏は、毛利の水軍として大活躍し、東は大阪の石山合戦、西は豊臣秀吉の朝鮮出兵にも従軍しています。忠海の西地区、勝運寺に浦宗勝のお墓があります。



## 【乃木將軍腰掛岩】

明治39年、乃木將軍がここに腰かけて、風景を絶賛したそうです。明治39年といえば、日露戦争に勝利して、將軍が日本に凱旋した年です。彼は国民的英雄として迎えられました。戦争で多くの部下を喪ったこと、また二人の息子を喪ったことで、複雑な心境だったと言われています。当時どのような思いで、この風景と対峙したのでしょうか。



## 【観音堂】

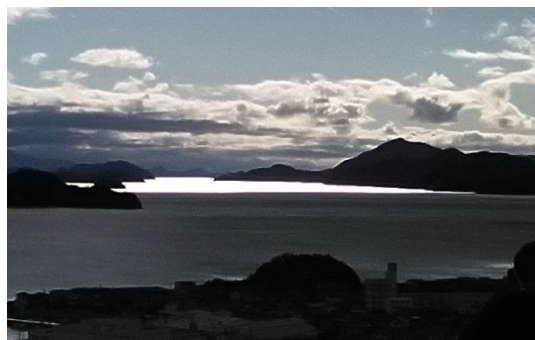
ここからは、忠海の町を一望に見下ろすことができます。



- ① 神明祭; 本日2月第2日曜日は、二窓(ふたまど)の神明祭(しんめいさい)が行われる日ですが、今年残念ながら中止となりました。浦宗勝の戦勝祈願として始まったとされるこの近郊で最も勇壮で立派な火祭りです。旧忠海東小学校跡地で行われます。この祭りの映像は、YOUTUBEで見ることができます。
- ② エデンの海; 映画「エデンの海」の舞台となった、冠崎公園が見えます。芸予要塞の砲台が設置された場所で、この丘からヒロインが白い水着を着けて、馬で海に乗り入れるシーンがあります。原作は若杉慧(わかすぎ・けい)の1946年発表の小説

で、彼が当時女学校だった忠海高校の教師だった経験も踏まえて書かれたものです。3回も映画化されたのは、絵になるシーンが多いためでしょうか? 因みに3回の映画の主演は、1950年: 鶴田浩二、藤田泰子、1963年: 高橋英樹、和泉雅子、1976年: 南條豊、山口百恵、と当時の一流どころが務めています。

- ③ 光る海; 公園の手前に芸予砲兵大隊跡があり、屋根に「アトム」と書かれています。現在は、ゴム手袋の製造会社、アトムの工場です。♪光る海、光大空、光る大地〜、これは鉄腕アトムではなく、アニメ、エイトマンの主題歌ですが、ここからは、日常的に「光る海」をみることができます。皆様、この世界一と言われる多島海美を満喫してください。



## 4. 岳連短信

## 1. 寄贈御礼

3/25 福山山岳会『会報』4月号

3/25 三原山の会『筆影』No. 529 (4月号)

長野県山岳協会『やまなみ』No. 252 (3/10発行)

## 編集部より

- この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。
- 会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。
- この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。